



絵：小松原剛

特 集

韓国の人たちとの交流

韓国からの見学者スケジュール	
10日(水)	10:00 パンジー見学と全体説明 13:30 かえる会と交流 16:00 グループホーム2か所見学 18:00 交流会
11日(木)	10:00 ハートブレイクの人による研修 (パンジーII) 12:00 パンジーIIで昼食 13:30 ワークショップ (わくわく) 『すてきな恋をするために』 16:00 ワークショップの意見交換
12日(金)	10:00 ザ・ハート見学 12:00 パンジーIIで昼食 13:30 意見交換会

韓国から帰ってきた人たちの第一声は「ごはんがおいしいしかったわ!」。目当ての物が買えたとおみやげを見せてくれる人もいました。支援者は「(車いすの当事者と)毎晩飲みに行つてきた。行く? と聞いたら行くと言ふんや。階段全部抱えて昇り降りした」と得意そう。当事者も支援者も新しいことにチャレンジし、自信に

夏の始めに、パンジーでの海外旅行です。旅行会社からは「韓国はパリアフリーが遅れている」との情報がある中で、どういう旅になるのだろう、という不安をよそに、車いすの人も含めて、みんな元気に旅立つていきました。

韓国はパンジー旅行初めての海外旅行です。旅行会社からは「韓国はパリアフリーが遅れている」との情報がある中で、どういう旅になるのだろう、という不安をよそに、車いすの人も含めて、みんな元気に旅立つていきました。

同時に「もつと韓国の文

化に触れたかった」と不完結燃烧だった人もいました。パンジーの旅行では、「人との出会い」がテーマの一つになっています。韓国に行つたことで文化や人と触れあいたい、もっと知り合いたいという思いが強くなつたのだと思います。

そんな夏の終わりに、パンジーに思いがけないお客様が訪れました。韓国で障害者の支援をしている人たちが見学に来られたのです。見える会を見学したり、意見交流会をしたり、いろんな発見や楽しい体験がありました。韓国の人たちとの交流について、特集で紹介します。

今度は韓国の当事者に会いたい



韓国から支援者が見学に来る！かえる会への見学者は珍しいことですが、

外国のお客さんとなれば、みんな緊張ぎみです。「意見交換の時間はどのぐらい？」

「新職員の面接に韓国人に入つてもらうか？」等話し合っているとき、韓国の人たちが「アンニヨンハセヨ」と入ってきました。こちらも「アンニヨンハセヨ」。

まず20分後に始まる当事者の職員面接に、韓国の人たちが入るかを話し合いました。「やりにくいから出てもらおう」「かえる会の活動として見てほしい」等々、まとまりそうもありません。

「日本語わからへんから、おつてもいいんぢやう？」の意見には「通訳がいてる！」とつっこみが入りました。韓國の人たちの意見を聞く答え。部屋の片隅で静かにする約束で、同席することになりました。

百人を超える職員を面接最後に、「韓国で、かえる

してきましたか？」と聞くと、「当事者が話し合いますか！」
う会はありますかが、職員の面接はしていません」という答えでした。

「韓国の当事者も職員に面接できたらいい。最初は緊張するけど、気づかないうちに力がついて職員にはつきり言えるようになるから」が、かえる会メンバーの後日の感想です。（山田）

「入所施設がどんなところか知っていますか？」「当事者に腹が立つた時、自分を噛みしめられますか？」手を出したらあかん！」等、矢継ぎ早に質問が続きました。言葉は通じなくても、意気込みは伝わったと思いません。

休憩の後、自己紹介やかえる会の説明等、約1時間話し合いました。韓国の人たちから、次のような鋭い質問もありました。「議長、

最初に「男性と女性の体の大切さの話」がある。フェルトで作られた模型を前に恥ずかしそうな当事者や、興味津々な人等さまざま。

次に、話題は恋愛のことへ。昨年9月に結婚した生田さんから「仲よくするコツ」が話されて場が和んだ。

次に「いいな」と思う人にハートのクッショングを渡すことになった。Aさんが

Bさんにハートを渡しに行き、手をつないで歩くと、

みんなから歓声があがつた。2人とも嬉しそうだった。

Bさんに聞くと「お母さんは内緒にしどく」とのこと。

ちょっと頼もしい。

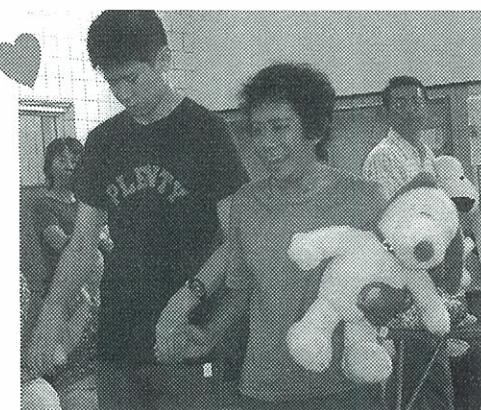


韓国の人たちの一番の目的は当事者へのセクシャリティ支援だという。8月11日「ハートブレイク思春期研究所」主催のワークショッピングが行われた。会場は銭湯を改装した「自立生活支援センターわくわく」だ。参加者は、主にパンジーの当事



韓国の女性めがけてハートを渡しに行つたCさん。さすが！ デートでの会話では「星がきれいだね」「結婚しよう」等、見ている人もドキドキワクワク。早く順番が来ないかなとうずうずしている人たちがいて、面

その感覚を素直に感じ大切にしてほしい。すてきな恋をするために。そして、私たち、その過程を支援していきたい。（にしお）



韓国人たちとの意見交換会

ほとんどない。

交流最終日は、パンジーの職員、ザ☆ハートの当事者との意見交換会が、河東田博さんとの司会で進められました。

三日間に伝えきれなかつた日本の障害者福祉システムや、パンジーの理念とそれを実現するための組織、日頃の活動やそれの部門の課題を話しました。

韓国人たちのパンジーの印象や感想は・・・

★自立生活している当事者が、生活保護と年金で生活していると聞いた。韓国の状況とは違い、様々な活動があり、楽しそうに見えた。

ザ☆ハートの生田さんは、「韓国でもピープルファーストをやつてもえたらいい。仲間を広げたい」、梅原さんは「パンジーでやっていることが、これでいいと

★同じ目標に向かつて活動している人が日本にもいるんだとわかつてうれしい。

★今回はスタート。ピープルファースト大会にも参加したい。今度はぜひ韓国へ！



思っているけど、わからんこともある。もつと勉強したい」と話しました。

この交流をきっかけとして、韓国でもピープルファースト運動や当事者主体の活動が広まつていけば本当にうれしいと思います。梅原さんの意見にもあるように、

パンジーはこれでいいわけではなく、もつと当事者の生活が良くなる支援をしなければと改めて考えることができた交流でした。韓国の人々、お互い頑張りましょう。また会える日を楽しみにしてい

ます！

当事者の感想です。

宮田「韓国でも施設があると聞いた。解体したい。ピアカンのことを詳しく聞かれた。今日は当事者も来て、一緒にピアカンができるらしいです」

生田「韓国に帰つたら

梅原「韓国は職員ばかり動いてるからまだ

韓国の支援者と交流して

ピープルファーストをやりたいと言つてた。

メンバーはようけおるつて。福祉の制度がまだだつて言つてたけど、ピープルファースト作

田邊「韓国の支援者の人は優しかった。吹奏楽や、ギターの話をした」



「すてきな恋をしよう！」に参加して

といった

てくれた

「女性人と付き合ってみたい。デートは公園に行きたい。好きなタイプはお金持ちで細い人」

「AさんとBさんがとても仲がよかったです。私もちょっとしてみたい

「AさんとBさんと一緒に結婚できたらいいな。その練習やと思つた。Aさんの手あつたかかった。めつたに行かれへん世界一周の新婚旅行に行きたい」

「AさんとBさんと一緒に渡すやつが一番よかったです。男の人に渡した。とても心やさしい人。また

参加したい」

「よかつた。結婚したい。デートは買い物がいい。手をつないでうれしかった。Bさんも喜んでた。たら声かけるねと言つ

た。お母さんには内緒にし

まだやなと思った。当事者がきてほしかった。こっちの話ばかりで、むこうの話ももっと聞けばよかつた」

旅行

—ランド 専&韓国！

外旅行、韓国です。パスポートを申請にいったり事前に韓国語の勉強をしたりと、職員、当事者とも旅行に行く前からワクワク、ドキドキでした。



東京

では一番のんびりして
こ揺られて白川郷へ。
・ぶしゃぶ。五平餅の
リームなど、たくさん
は宴会。ほぼ全員の
歌って満足そうでした。
外から丸見え雄大な
しました。愛知万博
椅子席があって、行列
も入ることが出来た！
食べに食べた3日間で

楽しみにしていたディズニーランドやディズニーリゾートで思う存分楽しめました。ショーやアトラクション、パレードなど梅雨の合間のためか混雑がなくまんぞく！夕方の集合場所には、ミッキーマウスも集合!! 突然のミッキーの登場にみんな驚くやら感動するやら。やってくれますミッキーさん。暑さにまいっていた当事者もミッキーの顔を見たとたんにここにこ！ミッキーの魅力にまいった！



でしたか？

「はい。人数が多いとしんどいので嫌やん」
「が楽しいと思う」
「どうや！」

旅館では、カラオケ出来て
楽しかった。
料理がいっぱい出てよかったです。





パンジーディズニ&愛知万

7月6日(水)～8日(金)の2泊3日、パンジー旅行に行きました。当事者と職員120名。今年は初めての試みとして、3グループにコースを分けて旅行に行きました。そのうちの一つは、初めての海

韓国

22名で、ソウル中心部とその近郊へ行つてきました。オシャレをし、韓国で購入したい物を決めてきた当事者たち。空港へ向かう車中からワクワク感と不安感で熱気のあふれる感じでした。韓国では、韓定食と古典舞踊を楽しみ、韓国民俗村や西大门刑務所歴史館で歴史にふれました。夜は夜で繁華街や焼き肉屋で韓国を堪能しました。「せっかく韓国まで來てるねんから、いっぱい楽しむもったいない！」



3つの旅行のコース。昼食は飛驒牛のおやつやソフト食べた！ホテル当事者がカラオケ上踊り体験の露天風呂でのんのパビリオンは多いパビリオナリヤ。帰りはきしめんした。

- Q 初めての小グループでの旅行はどうでしたか？**
- 「大勢の方がわいわい出来て楽しい」
 - 「グループで行けてよかったです。来年も3回やりたいです」
 - 「今年はグループだったので、来年は全体で行こうと思います」
 - 「グループと全体、1年交代で行った方がいいかなと」

夏休みに入る寸前、韓国から見学者が訪れた。本来はハートブレイクの人たちがパンジーで行う「すてきな恋をするために」のワークショップの見学が目的であつた。その機会に立教大学の河東田先生の勧めもあり、パンジーの当事者中心の活動を見学したいと申し入れがあつた。

詳細は、担当した各職員の報告に譲るが、かえる会の職員面接に、衝撃を受けたようだ。そして、職員面接や、法人の役員に当事者がなつてることなど、法人の運営に当事者が深く関わっていることに驚きを隠せないようであつた。そして、当事者中心の活動を支援している職員の質を高く評価してくれた。当事者中心の

を作つてゆきたい。そのために、まずは、パンジーの人たちを韓国に招待したい。当事者との交流を実現したい。そして、来年のピープルファースト大会に韓国の当事者を参加させたい」等の発言が続いた。そんな中、意見を求められた当事者リーダーが、「僕は、パンジーは、まだまだ変えなあかんと思うな」と発言した。その言葉に、私は、不意をつかれた氣がして、おもむろに体勢をたてなおした。

皆さんもすでにご承知のように、今年2月に国会に上程された「障害者自立支援法（案）」が8月8日に小泉首相が衆議院を解散したために廃案となつた。廃案の直接の理由は言うまでもなく、「郵政民営化法案」をめぐる混乱だつたが、この矛盾だらけの法案の審議をここまで引き延ばし、結果として廃案まで追い込んだのはなんと言つても、私た

「障害者 自立支援法」 の行方と 私たちの立場

創思苑理事 楠 敏雄

施設にすること。そして、それを支援できる職員を育てるなどを法人の理念としてきた私たちにとっては、とてもうれしいことであつたしかし、当事者中心の活動は当事者の会を作つたらできるものではない。それらは、日々の活動や生活の場等で、「自分の思いを伝えても大丈夫。怒られることはない、支援してもらえるのだ」という安心できる環境づくり。また様々な活動を通してそ

この3日間、私は、少し有頂天になつていたのかもしれない。パンジーでは、職員が褒められることは、とても希なことである。当事者中心の活動を支援しようと決めてから、意識して気持ちを切り変えないと「まだだ。まだだ。」「どうしたらしいんだろう。」という焦燥感に襲われることがある。そんな日常の中で、疲れてもいたし韓国の人々の国民性もあるのだろうが、ストレ

一トに褒められたのが、直にうれしかつたのだ。
気を取り直してとらえ直しをするため、私の頭は急ピッタリでぐるぐるまわり始めた。そりやそうだ。パーフェクトなんてありえない変えなければならぬ点がたくさんあるのは、私にもわかつてゐる。

現状は、実現途上なのだ
そして、その現状をどうしらえるかが、当事者や保護者や職員という立場によつ

て少しづつ違うのだと思う。そして、「それにしても、こういう場に当事者が参加していくと、様々な立場からの意見が出る。これがパンジーの良いところだ。当事者がいて良かったー！」と思つた。こういう、ポジティティブな視点でのとらえ直しを「リフレーミング」というそうだ。最近は、意識してそれを心がけている。

最後に、たつた3日間の交流が、「韓国への招待」に

つながった韓国人たちの
決断と行動のパワーを見習
いたいと思った。そして、
やはり、人とのつながりの
中で、私たちは成長してい
くのだと思う。

そのつながりを、私は、
当事者と一緒に作っていき
たいと、改めて思う機会に
なった。そして、この機会を
作つて下さった河東田さん
に感謝したい。

ち障害者運動の力によるところが大であると言つてよいところで、この自立支援法は今国会では廃案になつたとはいへ、厚生労働省はこの法律の制定を断念しておらず、衆議院選でよほど大きな変化がない限り、この秋の臨時国会に再提出されることは必至と思われる。現に先日の記者会見で尾辻厚生労動大臣は「この法律は最高のものだ。何の修正も加えずに再提出する」と言い切つているのである。

しかしながら、実際のところはこの法案は全くの「付け焼き刃」的なものであり、このことを一番実感しているのは他ならず厚生労働省のお役人たちであるはずである。現に衆議院での法案

は通過の際には与党自らが法案の根幹にかかわる十項目の付帯決議を提出し厚生労働省もすんなりとそれを認めているのだから・・・もつとも、付帯決議の内容そのものはどれをとっても明確さも具体性もない目ばかりで、こんなもので障害者の不安や怒りを沈黙化させることなどできるはずもない。たとえば私たちが特に強く批判した所得保障については、「就労支援を含めて所得保障について3年以内に結論をだす」、の表現にとどまっているまた、審査会についても「専門性を持つ障害者の参加や「知事への不服申し立て不十分さを認めざるを得た

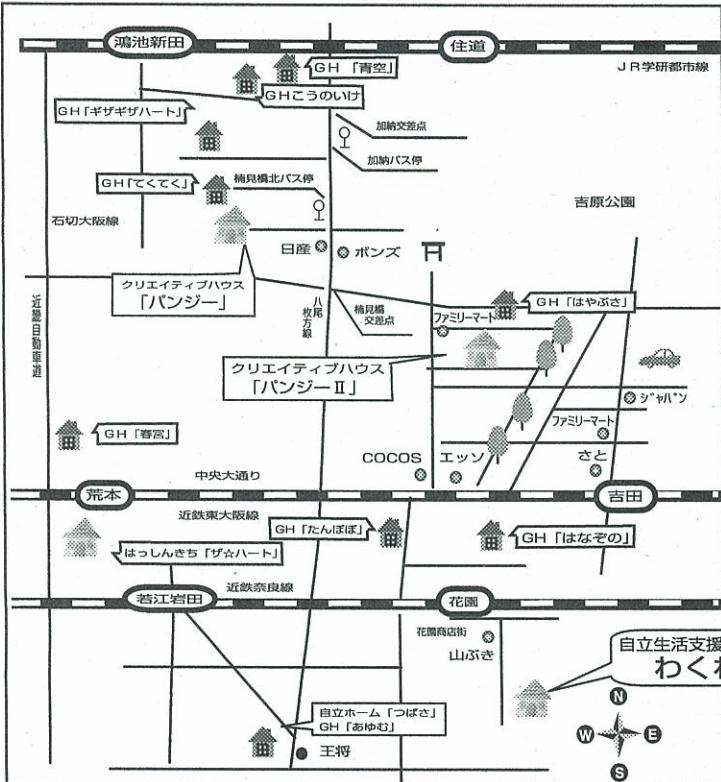
かつたのである。

さらに移動やコミュニケーションの支援については、「これまでのサービス水準の維持」を掲げており、自立支援医療についても、「月ごとの上限額の設定の検討を掲げているが、いずれも具体策は何ら提示されていない。

今後、私たちとしては、問題点が何ら解消されていないこの法案はどうしても認めるわけにはいかず、各地域や全国規模の行動を継続することを提起している。また、私たちの側からの自立支援のしくみや内容についても早急にプロジェクトチームを立ち上げ、新たな提案を積極的に行なつて行



★2005年夏、今年2つめのグループホーム「はなぞの」がオープンしました。
長屋を大改造して、魅力的なグループホームができました。3名の入居者は快適に生活している様子です。



おしゃれで決める！
知的障害を持つ人たちの
Fashion show
観に来てください！

今年で、3回目を迎えるファッションショーです。
40名のモデルがステージで輝きます！
ぜひ見に来てください。

日時：2005年10月3日（月）
13:30会場 14:00開演
場所：KOKO プラザ（青少年文化創造ステーション）
新大阪駅東口より徒歩5分

※この事業は、トヨタ財団の助成を受けています。

詳しくは、
パンジー（0729-63-8818）
までお電話ください。

第2回 地域生活支援フォーラム

俺ルール！ ～自閉は急に止まれない（仮）

講師：ニキリンコさん

翻訳家。幼い頃から周囲との違和感を感じながら育ち、30代になってアスペルガー症候群（知的面・言語面での遅れを伴わない自閉症スペクトラム）と診断される。翻訳・執筆・講演等を通じて、自閉の内側を語る活動を精力的に続けている。

主な著書に「俺ルール！～自閉は急に止まれない」、「自閉っこ、こういう風にできます！」（いずれも花風社）等。

■日時：2005年12月1日（木）
18:00～20:00（予定）

■場所：男女共同参画センター
「イコーラム」

*くわしくは、
パンジーII（0729-60-3610）まで
お電話ください。

書き損じハガキ、
(未使用)切手を
送ってください！

ご家庭や会社などで書
き損じのハガキ、スタン
プを押していない切手な
ど眠っていますか？
自立生活部門ではこれら
を集めて活動資金にあて
ています。ご協力お願い
します。

（敬称を略させていただきます）

（書き損じはがき・未使用切手
お送りいただいた方へ）

ご協力ありがとうございます
（カバンを頂いた方へ）

（小池尚志）

（宮田隆志）

お問い合わせ
■クリエイティブハウス「パンジー」
東大阪市東鴻池町2丁目4-8
Tel 0729-63-8818 Fax 0729-63-8825
■クリエイティブハウス「パンジーII」
東大阪市中新開2-11-20
Tel 0729-60-3610 Fax 0729-60-3613
■自立生活支援センター「わくわく」
東大阪市花園東町1丁目17-30
Tel 0729-68-1556 Fax 0729-68-1557
■はっしんきち ザ☆ハート
東大阪市荒本2049-4-101
Tel 06-6789-6637 Fax 06-6789-6649
■ホームページ／<http://www.pansy-net.or.jp>
メールアドレス／info2@pansy-net.or.jp

みんなげんき

No.3
さいわい徹（⑥）

